

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5994159号  
(P5994159)

(45) 発行日 平成28年9月21日(2016.9.21)

(24) 登録日 平成28年9月2日(2016.9.2)

(51) Int.Cl. F 1  
G 1 0 C 3/00 (2006.01) G 1 0 C 3/00 2 1 0

請求項の数 1 (全 5 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2015-5708 (P2015-5708)                  (22) 出願日 平成27年1月15日 (2015.1.15)                  (65) 公開番号 特開2016-130822 (P2016-130822A)                  (43) 公開日 平成28年7月21日 (2016.7.21)                  審査請求日 平成28年1月22日 (2016.1.22)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 713008371                  星 雅人                  宮城県大崎市古川幸町二丁目3番27号                  (72) 発明者 星 雅人                  宮城県大崎市古川幸町二丁目3番27号</p> <p>審査官 富澤 直樹</p>
--	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 連結支持具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

グランドピアノのフレームの鍵盤側と譜面板とを連結するための左右一対の連結支持具であって、各連結支持具は上記フレームの鍵盤側を挟持し、該譜面板の傾斜角度を任意に変えられる蝶番を備えたことを特徴とする連結支持具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、グランドピアノに譜面板を固定するための一対の支持具に関する。

【背景技術】

【0002】

図2に、従来のグランドピアノの譜面板及び譜面台の斜視図を示す。

図の譜面板2は、譜面台5を構成する棹6にネジで固定されており、譜面台5は側板7の溝に挿入され支持されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特願平9-263475

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

## 【 0 0 0 4 】

1706年ピアノの発明以来300年間、譜面台の構成が製作側の論理で変化することは全くなかった。しかし、現代のホールなどの演奏会では、譜面台一式が取り外されコンサートが行われている。発生源から出た音は演奏者の耳に届く前に譜面台及び譜面板が大きな遮蔽物となり減衰する。

## 【課題を解決するための手段】

## 【 0 0 0 5 】

本発明は以上の点を解決するため、グランドピアノのフレームの鍵盤側と譜面板とを連結する支持具であり、該連結支持具を構成するJ字型部材の背面と字型部材の上面とを蝶番で接合し、譜面板の傾斜角度を任意に変えられることを特徴とする左右一对の連結支持具である。

10

## 【発明の効果】

## 【 0 0 0 6 】

(1)本発明の高さ7cm幅4cm奥行き3cmの左右一对の連結支持具を用いて譜面板をピアノフレームに取り付けることにより、従来の譜面台一式の奥行き30cm幅140cm厚さ3cmの大型の遮蔽物が不要になる。演奏者は発生源から出た音を直接聞き取り易くなる。

(2)音を遮断しない透かし彫りの譜面板への交換が容易になる。

(3)従来の譜面板は裏面をネジで固定していた為、裏返す事が出来なかった。本発明は容易に裏返す事が出来るため、表と裏で異なるデザインの譜面板を使用することにより、一枚の譜面板で二種類のデザインを楽しむようになる。

20

(4)色彩豊かな個性のある譜面板の作品と交換することにより、装飾性を持たせることが可能になる。

(5)天然木材の節約。

## 【図面の簡単な説明】

## 【 0 0 0 7 】

【図1】この発明の連結支持具を使用した具体例の斜視図を示す。

【図2】従来の譜面台及び譜面板を使用した具体例の斜視図を示す。

【図3】この発明の右側用連結支持具の斜視図を示す。

【図4】この発明の左側用連結支持具の斜視図を示す。

【図5】この発明の連結支持具を使用した具体例の断面図を示す。

30

【図6】この発明の連結支持具を使用し、譜面板を収納した具体例の断面図を示す。

【図7】この発明の連結支持具を取り付ける位置の具体例の斜視図を示す。

## 【発明を実施するための形態】

## 【 0 0 0 8 】

以下、本発明を図の具体例を用いて詳細に説明する。

## 【実施例】

## 【 0 0 0 9 】

本発明の連結支持具は左右一对である。

図3に、本発明の左側用連結支持具の斜視図を示す。

図の連結支持具は、J字型部材8と字型部材9と蝶番10から構成される。

40

蝶番10は、一端をJ字型部材8の背面と接合し、もう一端を字型部材9の上面と接合している。

図4に、本発明の右側用連結支持具の斜視図を示す。

図の連結支持具は、図3を用いて説明したものに加え、蝶番10にストップボタン11を備え、J字型部材8と字型部材9の角度を調整する構造を持つ。

## 【 0 0 1 0 】

以上の連結支持具は次のようにして使用する。

図1に、この発明の連結支持具を使用した具体例の斜視図を示す。また、図7に、ピアノフレーム1の鍵盤12側の形状と、本発明の連結支持具の取り付け位置の具体例を示す。

まず、右側用連結支持具3の字型部材9をピアノフレーム1の右側用取り付け位置13

50

へ差し込む。次に、左側用連結支持具 4 の 字型部材 9 をピアノフレーム 1 の左側用取り付け位置 1 4 へ差し込む。左右両側の連結支持具の J 字型部材 8 に譜面板 2 を差し込む。図 5 に、この発明の連結支持具を使用した具体例の断面図を示す。また、図 6 に、この発明の連結支持具を使用し、譜面板を収納した具体例の断面図を示す。譜面板 2 の傾斜角度は蝶番 1 0 を用いて行い、ストップボタン 1 1 を右手で押しつつ左手で譜面板 2 を起伏しながら調節する。

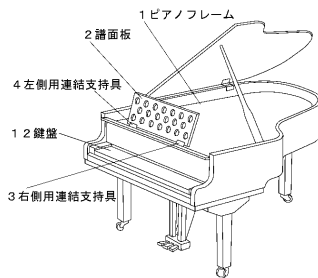
この構造によって、図 2 に示す従来使用していた譜面台 5 は不要になる。また、譜面板 2 は J 字型部材 8 から脱着でき、透かし彫りの譜面板 2 との交換が容易である。そのため、ピアノの演奏者は発生源から出た音を遮断されずに聞く事が出来る。

【符号の説明】

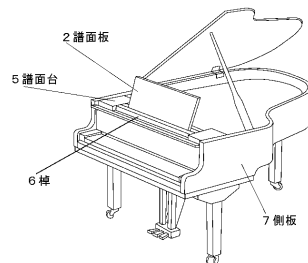
【 0 0 1 1 】

- 1 ピアノフレーム
- 2 譜面板
- 3 右側用連結支持具
- 4 左側用連結支持具
- 5 譜面台
- 6 棹
- 7 側板
- 8 J 字型部材
- 9 字型部材
- 1 0 蝶番
- 1 1 ストップボタン
- 1 2 鍵盤
- 1 3 右側用取り付け位置
- 1 4 左側用取り付け位置

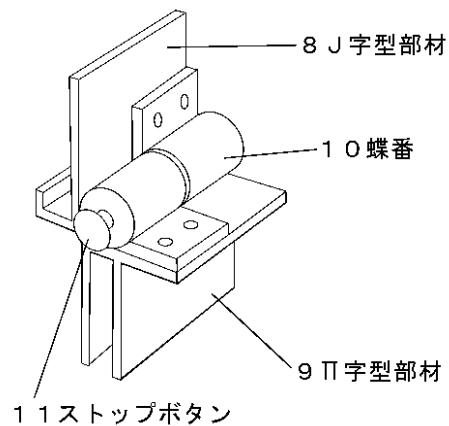
【図 1】



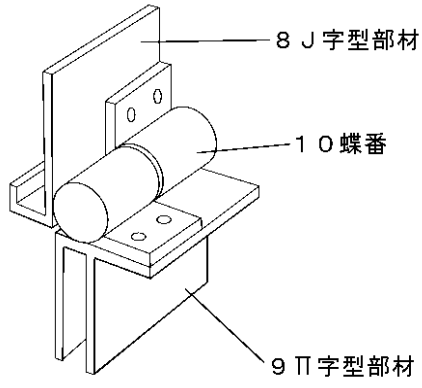
【図 2】



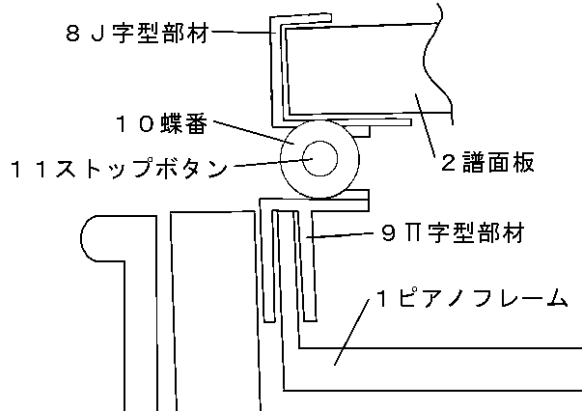
【図 3】



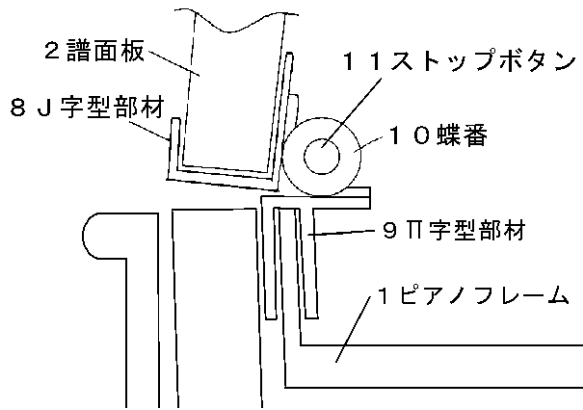
【図4】



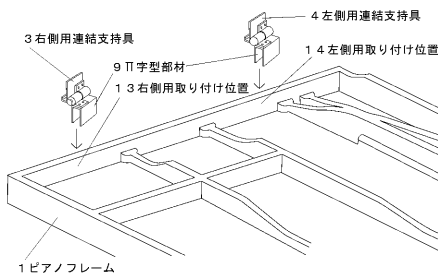
【図6】



【図5】



【図7】



---

フロントページの続き

- (56)参考文献 実開昭54-099615(JP,U)  
特開2013-250402(JP,A)  
特開2002-215132(JP,A)  
実開平02-041298(JP,U)  
実開昭62-079441(JP,U)  
特開2015-036751(JP,A)  
登録実用新案第3188908(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G10C 1/00-9/00  
G10B 1/00-3/22  
G10G 5/00-7/00  
G10H 1/00-7/12  
A47B 23/00